

みなさんこんにちは、いつも白衣の恵子先生です。先日先生が大好きな美術館、鹿沼市にある「川上澄生美術館」に行ってきました。彼の作品は、版画が中心です。みなさんが図工でつくる版画は黒や青といった 1 つの色だけで刷られることが多いと思いますが、彼の作品は黒の輪郭線に緑やオレンジや青などいくつかの色を配色して刷られています。江戸時代の浮世絵も多色刷りの版画ですね。さて、どうやってずれないように刷っているのでしょうか？不思議ですね。興味のある人はぜひ調べて、図工の版画の時に挑戦してみてくださいね。今回の川上澄生氏の企画展は、伊曾保物語の挿絵でした。伊曾保物語・・・どんな物語か分かりますか？みなさんがよく知る、そうイソップ物語です。「アリときりぎりす」や「町ネズミと田舎ネズミ」「北風と太陽」「うさぎとカメ」など子供たちに愛される物語の絵が展示されていました。動物たちの命が赤く色づけられているところが印象的でした。中でも「カラスと水差し」の物語は喉が渴いたカラスが生き延びるために知恵を絞るお話です。くちばしの長いカラスが水差しの底にだけ溜まった水を飲むにはどうしたらいいかな？って。たくさん失敗して色々試す中で、カラスに名案が浮かびます!!カラスはいったいどんなことをしたのでしょうか？「必要は発明の母」と言います。この物語は**どんなに難しい事も、あきらめずに頑張れば、必ず成功する**ということを伝えたい物語ですね。

今週、各教室の授業に参加させていただきました。みなさんもこのカラスのように知恵を絞って考えていましたよ。

2 年生の教室では「綿毛のタンポポには、ふ~~~~ってやるのに、黄色いタンポポには、ふう~~~~ってやらないのはなぜ？」の問いに、「綿毛じゃないから」「飛ばないから」「まだ種ができてないから」と意見を出しながら本質に迫っていく過程が興味深かったですね。**自分の経験**と教科書をつないで考えているのだと感心しました。経験と言葉がつながるからこそ、説明文の理解も深まりますね。素敵です!!クリーングリーン活動で見た草にはどんな知恵があるのか知りたくなりました。調べた人は先生に教えて下さいね。

3 年生の教室では「8:50から11:20までは何時間何分？」の問いに、アナログの時計を使ってみたり、数直線を書いてみたり、繰り下がりのお考え方を活用して計算で出したり、**試行錯誤してねばる**姿が見られました。頑張り屋さんですね。素敵です!!いろいろな方法を試す中で、自分にとって一番分かりやすい考え方や手法を選べるようになってほしいと思います。クラスでどれだけ選択肢を増やすことができるかな？挑戦ですね。

4 年生の教室では「割り算のひっ算で、0を書く書かない問題」に必死に説明してくれました。先生の揺さぶりに負けずに、何とか言葉を選びながら「省いてもいい」ことを獲得していました。算数の0って忍者みたいですね。隠れたり、現れたり・・・この0を難しいって思うより、便利な存在だなんて思える日が来ますよ。だって、数学は美しさを追究する学問だから。朝の算数教室での頑張りでぐんぐんひっ算ができるようになっているお友達もいました。**諦めない**って大切だね!素敵です!!もっともっと計算が速くなるように頑張っちゃおうね。

5 年生の教室では「『聞く』の違いを意識して、インタビューをつくらう」って相手の反応を予想して次の質問を頭をフル回転で考えていました。質問を羅列してみたけど・・・そこからどうしていいか分からない。煮詰まったら、友達に相談!!どこが違うのかな?『聞く』を意識するってどういうこと?きっと**こんな答えが返ってくると思うから**・・・と流れるような質問原稿を書き上げているグループがありました。授業中にも友達の良いところは真似したり、褒め合ったりできる温かい空気感でした。素敵です!!このインタビューの学びは総合的な学習の時間にも生かされますよ!!

さて、昨日・今日と 6 年生は修学旅行中です。この 2 日間、お昼の放送やロングスローチャレンジなど学校を引っ張ってくれているのは 5 年生。本当によく頑張ってくれていますね。ありがとう。この後もよろしくお願いしますね。

さあ、来週も陸上練習が続きます。どんなに難しいことも、あきらめずに頑張れば、納得する結果が得られますよ。応援しています!!

それでは、また来週。See you next week! Take care of yourself! Have a nice weekend.